

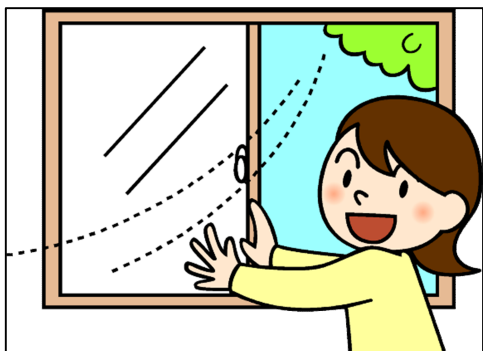


邑楽町版

学校再開

に向けたガイドライン

【登校前・登校時 学校生活 給食 部活動 休校等の基準】



本ガイドラインは、群馬県版を参考に作成したものです。
令和2年4月28日

登校前・登校時

毎朝の検温 間隔をあける 近づきすぎないように

- 毎朝、検温を行い、平熱+0.5℃以上の児童生徒は自宅で休養する。
- 平熱より高く、風邪症状がある児童生徒は、自宅で休養する。
- 登校時にはマスクを着用の上、おしゃべりをせず、近づきすぎないように列で登校する。

※マスクがない場合は、家庭や地域の協力のもと、マスクを作成する。

- こまめな水分補給のために、飲み物を持参する。
- 教室で発熱症状等がないか確認し（健康観察表の活用）、体温が平熱より高い場合や体調不良が見られる場合は、健康観察をしっかりと行った上で帰宅させる。なお、検温を忘れた場合は、学校で実施する。
- 平熱+0.5℃未満であっても、登校後、平熱より高い場合や体調不良が見られる場合は、健康観察をしっかりと行った上で帰宅させる。
- 学校に登校したら、各教室に入る前に、手洗いを確実に行う。



動画はこちらから！
文部科学省YouTube「MEXTchannel」
<https://youtu.be/219-0tHGje8>



学校生活

手洗い
マスク
換気

水筒持参
咳エチケット

- ^{て あら すいぶんほきゆう おこな}
手洗いと水分補給をこまめに行う。
 - ^{おおごえ はっせいなど ばめん かぎ しつない つね ちゃくよう}
大声での発声等の場面に限らず、室内では常にマスクを着用する。
 - ^{あさ かい ちゃくよう かくにん}
朝の会でマスクの着用について確認する。
 - ^{かんき かくきょうしつ たいかくせんじょう しょうじょう まど つね あ}
換気のため、各教室は、対角線上の2か所以上の窓を常に開けておく。
 - ^{くわ やす じかん でいりぐち かいほう など かんき てっぺい}
加えて、休み時間には、出入口のドアも開放する等、換気を徹底する。
 - ^{じゃぐち て など がっこう きょうようぶぶん ふ}
蛇口、ドアノブ、手すり、スイッチ等、学校の共用部分は、できるだけ触れる回数を減らす。一日一回アルコール等で消毒する。
 - ^{しつない じどうせいとかん きより はな おおごえ だ}
室内においては、児童生徒間の距離をできるだけ離すとともに、大声を出すことは控えるようにする。
 - ^{こうない せき けいじ じどうせいと しどう てっぺい}
校内に、咳エチケットのポスターを掲示し、児童生徒への指導を徹底する。
- ^{じこう さんしょう}
※次頁ポスター参照

学校生活

- がっこうぎょうじ 学校行事については、3つの条件(密閉、密集、密接)を回避できない場合、
 とうぶん あいだ じっし み あ 当分の間、実施を見合わせる。
- しゅうがくりょこう えんそく げいじゅつかんしょうきょうしつなど しゅくはく ともな ぎょうじ こうがい かつどう 修学旅行、遠足、芸術鑑賞教室等、宿泊を伴う行事や校外での活動
 は、えんきまた ちゅうし は、延期又は中止する。



内閣官房：新型コロナウイルス感染症の対応について
https://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html



感染予防のために、できること。
<https://www.bowlgraphics.net/covid19>
 この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。Supervision : Kenji Shibuya (King's College London), Yoshiro Hayashi (Kameda Medical Center), Narumi Hori (National Center for Global health and Medicine), Eiji Kusumi (Navitas Clinic) Design / Illustration : Takashi Tokuma (bowlgraphics inc.)

給食

手洗い 机をはなす しゃべらない

- 食事の前には、給食当番はもとより、児童生徒等全員が手洗いを徹底する。
 - 給食の配膳を行う児童生徒及び教職員は、発熱や風邪症状がないか、マスクを着用する等衛生的な服装であるか、手洗いを徹底しているか等、当番を行うことができるか毎日点検する。
 - 食事をする際には、机を向かい合わせにはせず、座席の間隔をできるだけ空けて、飛沫を飛ばさないように会話を控える等の対策を行う。
- ※食事はマスクを外すことから、近距離で会話をする状況は、特に感染リスクが高い。

部活動

必ず先生と一緒に 基礎体力 はなれて活動

- 部活動は、生徒の健康・安全の確保のため、生徒に任せて実施するのではなく、教師や部活動指導員等の指導の下で実施する。
- 学校生活と同様に、手洗い、水分補給、マスク着用、換気、アルコール消毒等、基本的な感染症対策を徹底した上で実施する。
- 活動に際しては、生徒間の距離をできるだけ空けて、大声での会話や発声は避ける。
- 部活動毎に、活動日・活動時間を設定し、3つの条件（密閉、密集、密接）が重ならないよう、実施内容を検討する。
- 疲労により感染リスクが高まるため、過度な運動は控える。
- 集団での活動機会が少なくなるため、個人練習がしやすい環境を整え、基礎体力等を養うことを推奨する。
- 部室等の利用に当たっては、短期間の利用とすることや、一斉に利用させないことで、密集を防ぐようにする。
- 発熱やだるさ等の風邪の症状が見られる生徒は、部活動への参加を見合わせ、自宅で休養する。

休校等の基準・その他

- 児童生徒や教職員が、PCR検査を受けることになった場合や、濃厚接触者となった場合は、学校に連絡する。
- 児童生徒や教職員に感染者が出た場合には、館林保健福祉事務所の判断により、学級閉鎖または学校全体を臨時休業とするなどの対応を行う。
- 児童生徒や教職員が濃厚接触者となった場合には、登校を認めないこととする。その上で、児童生徒または教職員の所属する学級及び部活動について、学級閉鎖及び活動停止とする等の対応を行う。
- 以上を基本としながら、症状の重さや、学校内における活動の広さ、接触者の多さ、地域における感染の広がり等を考えて判断する。その結果、学校全体の臨時休業にとどまらず、町内全体の臨時休業等も実施する。
- 平熱+0.5℃以上の発熱や咳などの風邪の症状は見られないが、保護者が新型コロナウイルスへの感染を恐れ、児童生徒を登校させることに強い不安を訴えた場合には「校長が出席しなくてもよいと認めた日」とし、欠席扱いしない。



問い合わせ先



邑楽町教育委員会 学校教育課 学校指導係 47-5042 (ダイヤルイン)